

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・若干、単価の下げ止まり感がみえて、少しずつ単価が上昇している気がする。
	変わらない	百貨店（担当者）	販売量の動き	・母の日需要を始めモチベーション動向が好調に推移している。例年よりも1週間遅い梅雨入りも好調要因となり、前月苦戦をした衣料が大きく回復している。また、物産展を中心とした食品売上也記録的な伸長をしていることから5月は店舗計にて前年比4～6%で着地するものと判断する。全体的に、この好調は天候不良の影響を強く受けた前月の反動であるとみられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークが過ぎてから来客数が減少している。また、会社関係の人事異動などで客層が変わっており、混み合う時間帯に変化が出ている。
		コンビニ（エリア担当）	客の様子	・4月中旬に投入した商品が当たり、ファストフード部門の下げ止まりには寄与している。こういう衝動買い商品があれば買上点数も増えるはずだが、買上点数の前年同月比は100%で推移しており、結果は変わらない。他の商品を買控えることもあり、1品余分に買うという傾向がみられない。
		その他専門店 [楽器]（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークや、毎週日曜日に通りを歩行者天国にした影響で来客数の増加が確認できる。しかし競争相手の増加や価格競争、業種自体の低迷もあり、前年に比べて売上の確保が厳しい。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・5月は落ち込む時期である。例年に比べても来客数が減っている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の平成19年2月は前年同月比で103.9%、今月は26日現在で104.2%とほぼ同程度の伸びとなっている。来園者は4月同様、一般団体、修学旅行等が中心である。
	やや悪く なっている	一般小売店 [衣料品・雑貨]（経営者）	販売量の動き	・5月の上旬はゴールデンウィークのため売上増を期待したが、前年比で約80%と減少した。ゴールデンウィーク明けの売上が前年より若干アップしているため、全体での前年同月比では90%となっている。繁忙期と考えている4、5月が前年比を連続して下回ったのは、来客数よりも客単価の減少が要因である。
		その他専門店 [書籍]（店長）	販売量の動き	・例年と比べると徐々に減ってきている。大型店が集中している都心部に客が流れていて、地域にある既存店では、商品量、単価のどれをとってもかなわない。
その他飲食 [居酒屋]（経営者）		それ以外	・仕入や人件費等が徐々に上がり、それを価格に転嫁できないため、利益率が下がっている。来客数を増やす狙いの企画は、2月は3%の返りがあったが5月は0.9%にとどまっている。	
観光型ホテル（商品企画担当）		販売量の動き	・ゴールデンウィークを除く5～6月にかけて、団体の受注が前年より悪くなっている。前年は5月下旬の平日を中心に太平洋島サミットの開催があったが、今年は大型の団体コンベンション関連がほとんど無い。	
観光型ホテル（営業担当）		販売量の動き	・7月の参院選を控え、どうしても団体客の動きが少なく苦戦している。	
観光型ホテル（総支配人）		来客数の動き	・3か月前対比で客単価はほぼ一緒であるが、宿泊人数が77.5%と大幅に減少している。繁忙期であるゴールデンウィーク期間も、人数・売上とも前年比で10%減少し、競合ホテルへの分散化が顕著となっている。	
悪く なっている		-	-	-
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-

	変わらない	輸送業（営業・運営担当）	受注量や販売量の動き	・例年梅雨時期になると荷物の動きが鈍くなる。あわせて、取引先の外食系の出店計画が先送りとなり期待していた物量が獲得できていない状況にある。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	コピーサービス業（代表者）	受注量や販売量の動き	・前月の売上も良くなかったが、更に悪化している。従業員数に変化は無いが、月ごとに売上が下がっている。一番の理由は、市町村の財政難と、今まで発行していた住民サービスの紙媒体の情報誌が削減されたことである。印刷業も、建築業と同じで公共の仕事に頼っていた部分大きい。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・4月の就職者数は1,429人である。3か月前と比較すると33.4%、358人増加している。前年同月比では1.2%、17人増加している。ただし常用だと0.7%、9人減少している。その他に、新規求人数は3か月前比で19.9%、前年同月比で30.0%の減少、新規求職者は3か月前比で11.2%の増加、前年同月比で4.2%の減少となっている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・県内外の企業より順調に求人がある。特に顕著なのがIT関連企業であるが、エンジニア以外の事務や営業職などの求人も増加しており、求人数を押し上げている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・銀行を含む県内大手企業が、軒並み採用人員を大幅に増やしている。ちなみに銀行の場合、従来は採用試験を同じ日に実施していたが、別の日に実施するようになるなど大変な積極性が見受けられる。また、中小企業も上記の動きに引っ張られて焦りが出ており、それで積極採用の姿勢が強い。最後に、観光客入域者数の増加を見込んで、観光業も強気で採用が目立つ。
	変わらない			
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	雇用形態の様子	・求人広告の中で、派遣会社の広告が多い中、求職者とのトラブルの記事、報道がマスコミに取り上げられていて、求職者の動きが鈍くなっている。
	悪くなっている	-	-	-